



サイジヤナル

月刊
26・9・10
第417号

日本サイ科学会 平成 26 年 9 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒466-0051 名古屋市昭和区 御器所3-4-21 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (871) 9060	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六龜荘町9-39 (事務局) 木村のり子 河 野 明 夫 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX (095) (883) 6159
--	---	--	---	---

九月本部例会のお知らせ

死後の世界と輪廻転生についての一考察

講師 石川 允朗氏
(獣医師)

古代日本における、死者に対しての埋葬方法では、屈葬を行っていた事例があり、その理由としては胎児の姿をとることによる再生を祈る、死者の霊が生者へ災いを及ぼすのを防ぐため等様々な説があります。

日本における、最初の歴史書である古事記には、黄泉の国についての記述があること、また近世において、人間の肉体には魂が存在し、永遠に生まれ変わりが繰り返されるのではないかと科学的に研究され、医学の領域からは臨死体験説も唱えられています。

また、宗教におけるあの世は、地獄、極楽があり、輪廻転生することがあると説明がなされています。ところが、現代におけるアカデミズムでは魂の転生はない、人間は死ねば無であるとの説が主流

をなしております。

そこで、死後の世界と人は転生するののかということについて、ダライラマの転生、エドガー・ケイシーの催眠状態における転生解説、また日本における平田篤胤による「勝五郎再生記聞」などの文書等を比較検討し、古代から現代に至る歴史的、宗教的、心霊的分野等からの解析により、死後も人は生きており霊魂として存続するのか、また転生をするのかということについて徹底的な検証を行いました。知れば知るほど驚くべき輪廻転生の事例をできるだけ分かりやすく紹介し、その仕組みを考察致します。

※獣医師をされながら、心霊科学に興味を持たれて長年研究されてきた石川氏ですので、動物の特殊な能力エピソードも含めて、興味深いお話が聞ける貴重な機会です。輪廻転生等興味のある皆様は、ご友人、知人をお誘いして、是非ご参加願います。

●石川允朗氏のプロフィール
昭和22年4月19日生まれで香川県出身、現在千葉市にご在住。

今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 計報
- ◎ 年会費未了の方へお願い
- ◎ 事務局からのお知らせとお願い
- ◎ 九州・関西・中部サイ科学会九月研究会予告
- ☆ 10月全国大会プログラム
- ◎ 関西サイ科学会十月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会十一月例会予告
- ◎ 九州サイ科学会十一月例会予告
- ◎ 六月通常総会報告
- ◎ 平成25年6月本部例会報告
- ◎ 第三八八回関西サイ科学会報告
- ◎ 本部例会ビデオ映像の販売
- ◎ サトルエネルギー学会秋の大会
- ◎ 本部分会講演録の販売
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ 近赤外線光、水分、歓心がオーブの出現に与える影響

日本獣医生命科学大学卒業後、現在まで千葉県や千葉市職員も含めて、獣医師をされています。前公益財団法人日本心霊科学協会監事、財団法人市原学園講師、吉田動物病院在籍。

日時 平成26年9月13日(土)
午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤
羽寄り)の階段を下り改札
口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼
(8/4受領分まで)

金二万円也 森安 政仁 様
金一千元也 信太 民久 様

計 報

本年6月まで長年、中部日本サイ
科学会会長を務められた山田哲三
先生が、7月12日永眠されました。
心からご冥福をお祈りいたします。

年会費未了の方へのお願い

本年3月1日発行の「サイジャ
ーナル」とともに、「年会費納入の
お願い」と郵便振替用紙を同封致
しましたが、まだお振り込みでな
い方は、以下の郵便振替口座にお
振り込み願います。郵便振替用紙
は郵便局にあります。

00100・2・15344

加入者名 日本サイ科学会

●年会費一年度分

維持会員 二万円(一口)

正会員 九千円 学生会員 六千円

準会員 五千円

◎事務局からのお知らせと お願い

☆本部例会や大会等での運営ボラ
ンティア募集中

受付での資料配付、講演者スラ
イド発表時の電灯操作、コンピュ
ータ操作などのお手伝いをしてい
ただけませんか。当日の参加費が
無料になります。

●左記にご連絡願います。

E-mail office21@psj.mail-box.ne.jp

九州日本サイ科学会 九月研究集会のお知らせ

心の調和について

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年9月7日(日)

午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6

問合せ 095・883・6048

交通 J R長与駅下車徒歩20分

長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

関西日本サイ科学会 九月例会のお知らせ

セドナメソッド「人生を変え
る一番シンプルな方法」

講師 安藤 理氏
おさむ

日時 平成26年9月20日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 鞆公園内

会費 会員 二千元 一般 三千元

学生 一千元

問合せ 0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

中部日本サイ科学会 九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成26年9月20日(土)

午後1時半～5時

会場 眞野接骨院ホール

名古屋市昭和区御器所3・4・21

052・871・9060

交通 地下鉄鶴舞線荒畑駅下車

3番出口から徒歩1分

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎

★日本サイ科学会 第24回全国大会プログラム★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2014年10月12日(日) 10:00～16:50

(会場) 北とびあ7階第2研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)
の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 小林 正典 大会委員長

◎会員の研究発表(5名)(20分発表5分質疑応答/1人)

10:10～10:35 りんあん 「病と魂の関連性」

10:35～11:00 ロン 薄葉 「銀河活動と天変地異」

11:00～11:25 斎藤 斎霊 「植物による霊障害について」

11:25～11:50 小林 信正 「予感・直観についての考察」

11:50～13:00 昼休み

13:00～13:25 山根 真 「カタカムナから、宇宙へ」

13:25～13:35 休憩

◎シンポジウム テーマ「サイと天変地異」

13:35～15:15 パネラー5名の発表(1人20分)

15:15～15:30 休憩

15:30～16:40 シンポジウム パネルディスカッション

大会シンポジウム委員長 小林 正典(日本サイ科学会理事)

司会進行 阿久津 淳(日本サイ科学会理事)

パネリスト

阿久津 淳 「予知と持続：天変地異は超能力で予知可能なのか？」

小林 信正 「関東大地震の前兆」

小林 正典 「予知できた2014年浜岡原発の放射能事故」

瀬尾 泰範 「大地震の起きやすい太陽・月・惑星配置の統計的解析」

橋本 和哉 「気の共鳴反応で天候天変地異を読み取る」

16:40～16:45 優秀研究賞 表彰式 浪平 博人 会長

16:45～16:50 閉会のご挨拶 小林 正典 大会委員長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付)

関西日本サイ科学会 十月例会のお知らせ

潜在意識と習慣

講師 水口 清一氏

日時 平成26年10月18日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韋公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



関西日本サイ科学会 十一月例会のお知らせ

いま脳波が面白い！ ～右脳
と左脳との脳波共鳴、人と人
との脳波共鳴で場に何かが起
きる！

講師 志賀 一雅氏

日時 平成26年11月15日(土)
午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター
六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車
北へ徒歩5分 韋公園内

会費 会員 二〇〇〇円
一般 三〇〇〇円
学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで



九州日本サイ科学会 十一月研究集会のお知らせ

心の調和についてII

講師 森安 政仁氏

日時 平成26年11月2日(日)
午後1時～4時

会場 森安商店

長崎県西彼杵郡長与町本川内16・6
問合せ095・883・6048

交通 JR長与駅下車徒歩20分
長崎バス 洗切小学校前

下車徒歩2分

会費 無料

※人生相談も伺います

※会員以外の方の参加も大歓迎

◎お知らせ

九州日本サイ科学会は、10月12日(日)に講演会を外部の会場で開催する予定しておりますが、会場がまだ確定しておりません。9月に入ってから、日本サイ科学会の公式サイトでお知らせいたしますので、チェック願います。

六月通常総会報告

日本サイ科学会

会長 佐々木茂美(平成25年度)

新会長 浪平博人(平成26年度)

◎平成25年度本部事業報告

1. 会員の現状

(平成26年5月末現在)

名誉会員	1名
維持会員	4名

正会員 195名

学生会員 27名

準会員 65名

合計 292名

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「第23回全国大会」を含み、計12回の例会・分科会を開催した。

◎本部例会・大会(敬称略)

平成25年

4月13日(土) 大野百合子氏

「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち ―あなたは誰なのか―」

5月11日(土) 浪平博人氏

「イメージによる瞬間教育」

6月9日(日) 松原秀樹氏

「アレルギーを治す秘訣」

7月13日(土) 酒向猛氏

「千鳥学説を知るために」

9月14日(土) 奥野節子氏

「ブラジルの奇跡のヒーラー
ジョン・オブ・ゴッド」

10月13日(日) 第23回全国大会

テーマ「サイと自然治癒力」

11月9日(土) 小久保秀之氏

「生体センサによるサイ研究
―超能力研究の最前線―」

12月14日(土)忘年会も兼ねた
会員の体験意見発表と討論の会

平成26年

1月11日(土) 小川博章氏
「魂の発見」

2月15日(土) 小林信正氏

大雪のため中止

◎分科会

●宇宙生命研究分科会

テーマ

平成25年

7月28日(日) 第19回「第7回

UFO&オーブシンポジウム」

12月1日(日) 第20回「第1回

異能科学会議」

平成26年

3月30日(日) 第21回「第6回

ヒポクラテス・シンポジウム」

3. 総会

平成25年6月9日

北とびあ901会議室で開催

4. 全国理事会・評議員会

平成25年6月9日

北とびあ901会議室で開催

5. 本部理事会(第177回〜第
183回)を4月、5月、7月、
9月、11月、12月、1月と7回
開催した。

6. 出版物

「サイ科学」第35巻第1号を発
行した。

「サイジャーナル」第409号
から第414号までを発行した。

◎平成26年度本部事業計画

・10月12日(日)に全国大会(シン
ポジウムテーマ「サイと天変地
異」)を開催する。

・月例会を9回(4、5、6、7、
9、11、12、1、2月)開催する。
・宇宙生命研究分科会を3回(7、
12、3月)開催する。

・新しく「スピリチュアル研究分
科会」(世話役 小林信正副理
事長)を立ち上げ、年に数回の
分科会を開催する。

・本部理事会、全国理事会評議員
会を開催する。

・「サイジャーナル」を6回発行する。

・「サイ科学」を発行する。

・公式サイトを運営する。

・「心を科学する博物館」の資料を
整備する。

・その他

◎活動方針として

・刊行物に種々の分野の解説・応
用や新鮮な情報を増やす。

・会の活性化を図るため、例会等
でアンケートを実施、活用する。

・インターネットの公式サイトや
メールマガジンを活用する。

・雑誌等の告知欄やメールマガジ
ンに行事の予告を載せていく。

・地方日本サイ科学会との連携を
深める。

・地方からも講師を招く。

・理事や若手の幹事(理事候補、
評議員を増やす)。

・その他

◎地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会

会長 佐佐木康二

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年

4月13日 第188回研究会総会

「平成24年度事業報告、平成25
年度事業計画」

「意識の科学としての名言と名
言対」 佐佐木康二

6月8日 第189回研究会

「霊能発揮をブロックしている
者たちがいる!」 佐佐木康二

8月10日 第190回研究会

「ハイアーセルフにアプローチ
する科学機器的な実験」 佐佐
木康二

8月14日 三田光一出生の地探訪
(福来心理学研究所、仙台瞑想
研究会と共催)

10月12日 第191回研究会

「年収一千万円未満の人はサイ
能力発現できない?」 佐佐木
康二

12月14日 第192回研究会

「すべてをよい方向に導く超強
力パワーグッズの作り方と使い
方」 佐佐木康二

平成26年

2月8日 第193回研究会

「願望達成の真実」 佐佐木康二

◎平成26年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者
岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及
び超能力者の先人たちが出来るだ
け深く探求して、誰でも本来的に
持っているはずの超能力を万人に
成長させて人類の活動能力を本質
的に高めること」を今後も目指し、
次の事業を行う。

次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成果を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進

サイ現象の観測量化―「スカラ―波カメラ」等の開発、気・意識の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証（福来心理学研究所との共同研究）、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究

4. 講演会等の開催

「スカラ―波」「念写実験」等のテーマで5月、8月に講演会を開催する（福来心理学研究所と共催）

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」（福来心理学研究所との共同事業）及びビデオ資料等の閲覧サービス・管理

料等の閲覧サービス・管理

中部日本サイ科学会

会長 山田哲三(平成25年度)

新会長 眞野博英(平成26年度)

◎平成25年度事業報告

研究会集1

日程 平成25年5月11日(土)

会場 つるまい会館

会員数名の研究・体験発表

研究会集II

会長が体調を崩されたため中止

◎平成26年度事業計画

研究会集を2回開催する

内容 会員数名の研究・体験発表を中心に出席者で勉強会を行う。

第1回 平成26年9月予定

会場 眞野接骨院ホール

第2回 平成27年3月予定

会場 眞野接骨院ホール

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤 禎花

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年4月28日(日)

テーマ「気エナジーヒーリング」

「アロマと気エナジー」田村由美子(ホリスティック健康科学研究所講師)

「皮膚と気エナジー」丸谷恵子(ホリスティック健康科学研究所講師)

平成25年9月22日(日)

「世界史上でも第一級の人物 空海の修行と世界観、密教超能力の原理」瀬尾泰範(才能開発研究所代表、占星学研究者)

◎平成26年度事業計画

平成26年6月29日(日)

北陸日本サイ科学会定例会開催

平成26年9月28日(日)予定

(内容、詳細は未定)

◎分科会「氣の健康研究会」は長野県伊那市、静岡県磐田市にて活動予定

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年度は8月12月を除き、平成25年4月(377回)から26年3

月386回(の10回開催した。参加者は390名で、24年度より72名増加し、この8年間では最大となった。

研究会集

平成25年

4月20日 伊藤一夫「根源の音声に出して歌う和歌」

5月18日 和田高幸「ダウジングの現代」

6月15日 村上晋一「人類の進化のターニングポイント・アセンション」

7月27日 池田邦吉「神様がいるぞ・続編」

9月21日 大峰かず子「音の魅力に挑戦」

10月19日 中野瑞樹「フルーツの精々からのメッセージ」

11月16日 松尾みどり「宇宙意識文明の幕開け」

平成26年

1月18日 櫻井喜美夫「出口王仁三郎の黄金鏡」

2月15日 上森三郎「巨大地上絵発見でわかった世界文明の『起源は日本』だった!」

3月15日 土橋重隆「今ガンを見直す」

関西日本サイ科学会

会長 河野 明夫

◎平成25年度事業報告(敬称略)

平成25年度は8月12月を除き、平成25年4月(377回)から26年3

◎平成26年度事業計画(敬称略)

平成26年度は左記のように8月12月を除き、26年4月(387回)から27年3月(396回)の10回開催する予定である。

平成26年

4月 小林信正「靈感・霊能力について」

5月 橋本和哉「気で読みとる鬱積感情、霊障とその治療」

6月 平岡憲人「よみがえるやまと古事記以前の日本」

7月 高尾征治「放射能分解理論の発見と可能技術の数々」

9月 安藤理「人生を変える一番シンプルな方法」

10月 水口清一「潜在意識と習慣」

11月 志賀一雅「いま脳波が面白い!」

「右脳と左脳との脳波共鳴、人と人との脳波共鳴で場い何かが起きる」

九州日本サイ科学会

会長 金子輝夫(平成25年度) 新会長 森安政仁(平成26年度)

◎平成25年度事業報告

九州部会としての事業は行いま

せんでした。

◎平成26年度事業計画

九州日本サイ科学会では、目に見えない超常的な諸現象、中でも心(精神)と身体の関係、魂や霊性心といった自己の内的なものに目覚めることの大切さについて勉強していきます。さらに会員同士が互いに実践的、客観的な研鑽を積み、その正しい知識と研究の成果を世の中に普及して、人々の新しい生き方のために役立てていきたいと思っています。

○講演会は年に2〜3回、講師を招き、市内の会場を借りて開催する予定です。

(日時、会場、講演者などは、目下検討中)

○研究会は会員相互の勉強会を開催して研鑽を積んでいきます。

(日時、場所などは、目下検討中)

*テーマとして…生霊、死霊、霊障、邪霊と高級霊、カルマと先祖の因縁、除霊、浄霊、癒し、ヒーリング、感謝、無償の愛、奉仕、心の調和、魂の向上とは…等々。

●平成26年度日本サイ科学会役員

構成(*印は新任または改選)

名誉会長 佐々木茂美

会長 浪平博人

理事長 久保田昌治*

副理事長 小林信正*

顧問 窪田啓次郎*

品川次郎*

西條一止*

地方会長兼理事

東北日本サイ科学会会長

佐々木康二*

中部日本サイ科学会会長

眞野博英*

北陸日本サイ科学会会長

佐藤禎花*

関西サイ科学会会長、副理事長

河野明夫*

九州日本サイ科学会会長

森安政仁*

理事(常任理事を含む)

阿久津淳*、大木高伸*、大谷宗司、小林泰樹、

小林正典*、小牧昭一郎*、志賀一雅、志村則夫*、

徳永康夫、中島敏樹、

鯉江勇、本間修二*、

前田知則*、苗鉄軍、

渡辺宙明

幹事

飯見勇*、吉田一美*

評議員

薄葉達夫、占部浩一*、瓜生昌代司、大西章、

奥村八郎、加納愛信*、鴨川裕司、小久保孝行、

小林隆文、佐藤ひろ子、杉立繁*、高橋至誠、

谷口五月、飛田洋子*、三浦良江、屋敷益男*

監事

和田守央

- (1) 本部役員・理事会は会長、理事長、副理事長、顧問、常任理事、幹事によって構成される。
- (2) 常任理事は月1回開催される本部理事会に出席できる理事を示す。
- (3) 常任理事の選出は、理事の自己申告による。

◎基幹研究賞・功労賞表彰

基幹研究賞

東京都 小林 信正 殿

本会は定款細則第18条により総会の議を経て、貴下の研究活動に対し基幹研究賞を贈り、感謝の意を表します

平成26年6月8日

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

研究活動「オーブ（たまゆら）測定・解析の先覚的な基礎研究」最新の映像撮影技術をもちいてオーブの存在を確かめた

学会賞

(1) 目的…本会の理念にふさわしい学術研究、実践活動に対して授与する。

(2) 対象…論文、著書並びに実践活動にたいして。

(3) 選考方法…

(3・1) 自薦または他薦とする。

(3・2) 顧問、会長、理事、専門家で審査の上、理事会で受賞予定者をきめる。

(4) 表彰…年次大会時の総会で受賞者を決定する。

功労賞

佐々木 茂美 殿

あなたは日本サイ科学会会員（日本サイ科学会会長、日本サイ科学会理事長、理事）として、永年にわたり、研究と啓蒙活動にご尽力されました

本学会の輝かしい発展はあなたのご努力におう所が大でありますよって日本サイ科学会功労賞を贈り表彰し感謝致します

平成26年6月8日

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

〔平成25年度決算報告〕

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	2,000,000	会費(正)	1,389,000
例会	400,000	会費(学生)	208,000
寄付	500,000	会費(準)	342,500
本・他	100,000	会費(維持)	80,000
繰越金	2,202,302	会費(賛助)	0
合計	5,202,302	入会費	51,000
		例会収入	541,000
		本会寄付	729,000
		本・他	243,935
		広告料	0
		前年度繰越金	2,202,302
		合計	5,786,737

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	2,000,000	ジャーナル発行	600,000
例会	400,000	会誌発行	300,000
寄付	500,000	人件費	1,530,000
本・他	100,000	例会会場費	120,000
繰越金	2,451,346	講師謝礼	200,000
合計	5,451,346	事務用品	100,000
		郵送・配送料	50,000
		通信費	80,000
		会議・打合せ	70,000
		交通費	40,000
		事務所維持費	140,000
		郵便・銀行振込料	10,000
		予備	100,000
		来期繰越金	2,111,346
		合計	5,451,346

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	600,000	594,030
会誌発行	300,000	309,750
人件費	1,530,000	1,534,000
例会会場費	120,000	111,780
講師謝礼	200,000	220,440
事務用品	100,000	85,149
郵送・配送料	50,000	40,541
通信費	70,000	80,067
会議・打合せ	70,000	70,210
交通費	40,000	8,400
事務所維持費	140,000	140,269
郵便・銀行振込料	10,000	4,380
予備(予稿集印刷代)	100,000	136,375
来期繰越金	1,872,302	2,451,346
合計	5,202,302	5,786,737

〔平成26年度予算〕

平成25年6月本部例会報告

アレルギーを治す秘訣

講師 松原 秀樹氏
(体質研究所)

今日はアレルギーに関してお話しさせていただきますが、私自身がアレルギー（鼻炎・咽頭炎・目がかゆい、頭がぼーとする、耳鳴り、身体がだるい等）で40年悩まされてきました。何をやっても治らなかつたアレルギーが、つい最近ポンツと治りました。この一、二ヶ月のことです。

だいたい小学校1、2年生で毎週耳鼻科に通っていました。小学校6年までずっと通い続けましたが、最後に医者から「あなたの体質だから治らないよ。」と言われてきました。小学生の頃ですから、そんなに気にしないで、まあ大人になればそのうち治るのかな、と考えていたのですが、中学から高校に進むにつれて、だんだん悪くなってきまして、高校生くらいで症状がピークに達しまして、最悪の状態がだいたい10年くらい続き

ました。

それで体質改善しようかな、と思いき、玄米菜食とか漢方薬とか鍼灸とか西式健康法とかヨーガとかいろいろやりましたし、また肌を鍛えるといいということで水泳もせつせと泳ぎました。しかし結局治らないので、これはどうとう断食をするしかないかな、ということ、高校卒業後に断食道場に一ヶ月もって、本格的な断食をやってきました。

宿便を出せばすっかり体質は変わるということにかけたわけです。一ヶ月間道場にこもって、本断食一週間、普通の食事に戻す復食を三週間やって帰ってきました、どうなったかという、何も変わらなかったのです。あつという間に元通りです。変わった事と言えば、体重が10キロ痩せてげそつとしただけです。もう一つは野菜が好きになったことです。

あまりにも痩せてしまったので、今度は逆にウエイトトレーニングで鍛えなければ、ということでごダガン鍛えていきました。ウエイトトレーニングして、栄養療法の本を読んで、栄養を沢山とっていただくという方に切り替えたわけです。

体を鍛えて丈夫にすれば治るかなということ、極真空手を五年位一生懸命にやって、初段を取って体質がどうなったかという、それでも変わらないのです。

何なんだろうこれは？ よっぽど前世で自分は何が悪いことをしたのではないか？ これは前世の罰なのか？ と思いました。ずーっと何をやっても10年間は変わらなかったのですが、あるときにエドガー・ケイシーのオイルマッサージを勧めてくれた方がいました。



オイルマッサージが体を劇的に楽にしてくれましたので、それからエドガー・ケイシーの資料をどんどん読んでいきました。そうしたら、今まで体にいいと思っていたこととか、みんながやっている

から当たり前だ、と思っていた事の中に、体を悪くしている要因がいっぱいあることにだんだん気が付いて行きました。一つ気付いたものに生活を変えていきましたら、何年かかけて、症状が最悪時から半分くらいに下がりました。

30代の半ばに、歯の詰め物のアマルガムがアレルギーの大きな原因になることを知り、歯医者で13本の歯からアマルガムをはずしてもらいました。それをはずしてもらったら、また症状がストンと下がり、症状が最悪時の10パーセントまで下がりました。大分楽になりました。アマルガムを入れられたのは、だいたい幼稚園から小学校一年生の頃で、13本バッチリ入れられて、それ以来水銀が歯の中に約30年間入りっぱなしだったわけです。まあ、水銀中毒、でしょうね。

食事が悪かったと思います。症状が最悪時の後半の頃、パンが好きなので自分でパンが作れたらいいなと思ってパン教室に行きました。そしてクロワッサンの作り方を知って、びっくりしました。パン生地と油が全く同じ量なのです。しかもパン教室で使っていた油は

シヨートニングで、身体に有害とされるトランス脂肪酸だったので。こんなものを毎日食べていたらいかなと思ひ、知らないということに恐ろしいことでぞつとしました。

私は20代の前半に冷えて悩んでいましたので、毎日職場にあったゲルマニウム風呂と遠赤外線サウナ、水風呂に五年間くらい入っておりました。ところが冷えて冷えてしょうがなくて、真夏でもジャンパーが必要なくらいで、手も冷たかったのです。

その後皮膚科学を学んで、風呂が悪いんだ、風呂に入るのを止めようと思ひ、それ以来入浴は一週間に一度くらいになりました。風呂は入らない方が冷えにくくなり、皮膚もきれいになるのです。そういうようにいろいろな事を見直して、玄米菜食も止めました。

最近栄養療法も見直して、サプリメントも安心して長く飲み続けられる添加物のない自社ブランドのものを出しました。それを飲むようになり、自分の症状も数パーセントまで下がりました。それでもアレルギー症状が0にはならなかったのですが、今年の3月に

「LPS（リポポリサッカライド）」の入ったサプリメントを開発し、それを飲むようになってから、一、二ヶ月でアレルギー症状がストンと0になったのです。

そういうふうには自分で段階的にいろいろやってきて、要するにアレルギーが起きる仕組みがこうで、こうすれば治るんだということがあらかじめ分かりましたので、今日そのエッセンスをお話ししたいと思います。

主に免疫の話になりますが、免疫は血管の内側で起きている世界の話なので、見えないから分かりにくいと思います。免疫力は「高いー低い」の尺度（縦軸）と「正常ー異常」の尺度（横軸）があります。免疫力は高くても異常であれば困るわけで、アレルギーやアトピー性皮膚炎、リウマチのような自己免疫疾患は病院に行くと、ステロイド系の薬で症状を抑えます。これは免疫力を下げる方向なので、感染症にかかる率が上がったたりして良くないことも起こるので、理想を言えば免疫力を正常な方向に向けることです。その方法を紹介します。

1. アレルギー症状の軽減法

アレルギーには4つの型があり、I型・花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシーショック等で、主にこちらのお話になります。II型とIII型は自己免疫性疾患（自己抗体）と呼ばれるもので、II型は主に溶血性貧血等、III型はリウマチ、小児性糖尿病を始めとする様々な自己免疫性疾患、IV型は臓器移植後に起こる拒絶反応ですので、今日はお話ししません。

アレルギーの起こる仕組みは、肥満細胞にY型のものが一杯突き刺さっておりませんが、これが「IgE抗体」でここに花粉だとかダニだとかのアレルゲンになるものが飛んでくるとくっついて、その刺激が肥満細胞の内部に伝わって爆発します。内部から飛び散ったものの一つがヒスタミンでこれではアレルギー炎症が起こり、もう一つがロイコトリエンでこれはヒスタミンの千倍くらい炎症を起こす力があり、血管や気管支を強く収縮させます。炎症が進むと「アラキドン酸カスケード」の反応が起こり、炎症がさらに進みます。リノール酸や砂糖の多い食事

をしていると、アラキドン酸カスケードの炎症が起こりやすくなります。

アラキドン酸カスケードを抑える物質が、ルテオリンやビタミンCで、これらを摂るとヒスタミンが減少し、アレルギー症状が軽減します。ルテオリンが沢山含まれている代表的な食品が、シソの実エキスで、ヒスタミン遊離抑制作用があります。

「紅花油・大豆油・コーン油・ヒマワリ油・綿実油・菜種油・パーム油・ゴマ油・グレープシード油」等に入っているリノール酸が過剰になると、細胞膜リン脂質からプロスタグランジンができて痛みを増強し、ロイコトリエンは炎症を悪化し、気管支喘息や鼻づまりが起こります。

シソの実エキスは①ヒスタミンの遊離抑制作用②ロイコトリエンの生成抑制作用③炎症性サイトカインの抑制作用があり、シソ油（ α リノレン酸）はアラキドン酸カスケードの抑制作用があります。

自社ブランドの「シソの実エキス α 」はシソの実エキス100mg、乳酸菌66・6mg、小麦発酵抽出物（LPSを含む）40mgを成分とし

ています。

2. アレルギー体質の改善法

IgE・自己抗体を減らすことでアレルギー体質を改善します。

（1）衛生仮説

血液は血球と血漿に分けられ、血球は赤血球、白血球、血小板に分けられます。1mm立方の血液中に四、五百万個の赤血球と四、五千個の白血球、15〜20万個の血小板があります。免疫はその中の白血球のお話です。

白血球は単球と顆粒球とリンパ球があります。単球はマクロファージや樹状細胞等に分化し、顆粒球は好中球、好酸球、好塩基球があり、リンパ球はNK（ナチュラルキラー）細胞、T細胞、B細胞があります。T細胞は、キラーT細胞（異物に侵入して毒を注入して溶かす）とヘルパーT細胞（免疫の司令役）に分かれます。

免疫には「自然免疫」と「獲得免疫」の2つがあります。自然免疫には好中球、マクロファージ、樹状細胞、NK細胞が異物をまず食べる役割と、マクロファージと樹状細胞はヘルパーT細胞にこんな異物が入っていると抗原を提示します。

そうするとヘルパーT細胞はこれが大変だということで、一部はキラーT細胞に変身して異物を攻撃し、またB細胞にもっと抗体(抗原専用のミサイル)を作れと指令します。

したがって、最初的好中球、マクロファージ、樹状細胞、NK細胞を元氣よくさせると、免疫力が強くなります。

ヘルパーT細胞は「Th1」「Th2」になつたりしますが「Th1」が細菌に対応し、「Th2」が吸血ダニ・寄生虫・花粉・ハウスダストに対応します。「Th2」が増えるとアレルギー体質になります。最近「Treg」、「Th17」が発見され、「Treg」は免疫の制御役であり、「Th17」はガンに対応するヘルパーT細胞です。

LPS(リポポリサッカライド)に触れる機会が少ないと花粉症の発症率が高くなり、LPSに触れる機会が多いと花粉症の発症率は低くなります。

LPS(リポポリサッカライド)は、グラム陰性菌細胞壁外膜の構成成分であつて、脂質及び多糖から構成される物質(糖脂質)です。グラム陰性菌を体内に入れるので

はなくて、その表皮成分だけを体に入れると、免疫系は菌が入ってきたと勘違いして、「Th1」の方が優性となり、アレルギー体質が改善されます。その仕組みはLPSがマクロファージの受容体(TLR4)に付いて、マクロファージを活性化させ、アレルギー体質を改善させます。

「リーキー・ガット(=漏れやすい腸)」

本来は、タンパク質↓ペプチド↓アミノ酸の順で消化吸収されますが、「リーキー・ガット」の人は、ペプチドの状態で吸収されるので、異種タンパク質が体内に入ってしまうのが問題です。これによりIgE・自己抗体を作る原因になります。食べ物アレルギーはこれでしか説明がつかないです。ではなぜ「リーキー・ガット」になるのか？

一つの原因は薬です。「NSAIDs(非ステロイドの痛み止め)・抗生物質・経口避妊薬・長期点滴」等です。もう一つは食物です。「砂糖・牛乳・冷食・サボニン・レクチン・グルテン・タンニン・タウマチン様物質・カプサイシン・ア

ルコール」等です。また「外傷・熱傷・尻餅・ムチウチ・激しい運動」等も「リーキー・ガット」になります。

「リーキー・ガット」の修復法は、乳酸菌と野菜↓植物繊維(水溶性・不溶性)↓2・1)を沢山摂ることが重要です。こんにゃくとか海藻が水溶性です。

「Treg」&「TNF」活性化

「化学物質・重金属・ウイルス・異種タンパク」により、マクロファージが大量のサイトカインを分泌し、ヘルパーT細胞が暴走、自己抗体を作らせて、自己免疫性疾患を起こします。

それを防ぐためには、ビタミンDが「Treg」を活性化し、免疫系の暴走を抑制します。ビタミンDはUVB(紫外線のB波)が皮膚に当たること、ビタミンDの前駆体を作られます。

LPSは「TNF」をα活性化(胎児炎症)し、細胞障害性T細胞を死滅させ、腫瘍細胞も壊死します。

以上、アレルギー体質の改善には、サプリメント等で、一日についてビタミンCを4〜6g、ビタ

ミンDを4000IU、LPSは400〜800μg摂取し、乳酸菌や食物繊維も摂ることです。

3. アトピック・スキンの改善法
(1) 過剰入浴&石鹸&精油を避ける

石鹸等に含まれる界面活性剤は、皮脂膜を薄弱化し、皮膚常在菌を減少させ、皮膚を乾燥させるので、歳をとるほど皮脂膜の回復の遅くなることから、入浴は減らす方がよい。

(2) オイルマッサージでときどきホホバオイルを身体に塗り、LPS配合保湿クリームや高酸化水ゲルで保湿力をアップして、美肌を保ちます。

(質疑応答)

・ シソ油とエゴマ油は同じものですか。

・ 洗髪に関してはシャンプーしていいですが、界面活性剤がないものなど、品質の良いものを使つてください。

・ 肉は食べていいですが、野菜と一緒に食べて、バランスをとるようにしてください。



第三百八十八回関西日本 サイ科学会研究集会報告

気で読みとる鬱積感情、 霊障とその治療

講師 橋本 和哉氏

とき 平成26年5月17日
ところ 大阪科学技術センター

講師プロフィール

祖母が霊能者で不思議体験をする家系に育った。大阪大学医学部大学院卒業後、気功、オリンピックテスト、ダウジング、催眠を学ぶ。病院勤務後開業。「はしもと内科外科クリニック」NPO「癒しと健康ネットワーク」理事長、「医療ヨガ」指導、「気当て診断法」「天賜気功」を開発し応用する。医学博士、神経学会・東洋医学会専門医・内科学会認定医・温泉療法医・アロマアドバイザー。講演、雑誌掲載多数。テレビ出演、スピリチュアルTVにも出演。著書、「治りにくい病気が治る、DVDブック」(マキノ出版)「健康と若さを取り戻す医療ヨガ」(春秋社)霊障に関する

本を近々出版予定(創芸社)

講座会場では、蓄積感情、人から受けた感情、トラウマ、霊障を気エネルギーとして捉え診断するだけでなく、目の前で、しかも即効でその症状を改善させるなどの実演を、前に出て来てくださった方のおかげでデモンストレーションすることができました。また詰め詰め席で、最初は立ち見までであったのに頑張って聞いてくださった参加者に、先ずは心から感謝の気持ちをお伝えいたします。

講演内容は以下のような流れでした。

1. 気の感知練習をした上で、気当ての診断法の紹介と実習
2. 鬱積感情、トラウマ、人から受けた感情エネルギーの解説
3. 気当て診断で鬱積感情、トラウマ、人から受けた感情エネルギーをチェックする。
4. 鬱積感情、トラウマ、人から受けた感情エネルギーを数分という短時間で改善させる実演
5. 霊と霊障の解説
6. 霊障を気当て診断でチェックする。

7. 霊障を浄霊する実演
8. 霊障の予防、人と家に関して
9. 亡くなった人の霊以外の憑依
10. 霊界の階層
11. 先祖供養
12. 憑依体質を改善するには
13. 質疑応答も活発に30分ほど行われました。

気当て診断法を体感してもらう前に、最初は気の流れを良くし、気の感知練習から始めました。クリニックで行っている医療ヨガをベースとした動きを行ってもらいました。医療ヨガは伝統的なヨガの動きを患者さんや動きの悪い人にもできるようにアレンジした動きですが、3つの目的のために動きます。1つ目は、動脈を末梢までしっかりと流す。2つ目は、鬱滞している静脈、リンパ液を戻す。3つ目は、歪んだ脊髄を矯正する。

一回の医療ヨガをするだけで外気功と気の感知が8割の人ができるようにになります。医療ヨガの動きで特に上半身と手の動きを参加者に行い、気を流す練習をしました。指先の先端は気のルートである経絡がターンするところなので、特にしっかりと動かす必要があります。

す。肩、胸背も日常的にあまり動かしておらず、気の滞りができやすいところなので、そこを特にしっかりと動かします。気エネルギー入り音楽CDを聞いてもらい、気功が一段とできるのも体感してもらいました。

気の感知練習と外気功ができるようになったら次は気当て診断法の練習です。気当て診断法では、検索したいあるものを意識して手指に気を集め、対象物に当てます。対象物に意識したものがあれば共鳴して気が当たり(共鳴)、それによって対象物に何があるかを知ります。参加された方の大半が気当て診断法が出来、自分の臓器などに気を当てて共鳴反応を取る練習をしました。

次は感情の話です。ときどきに湧き上がる感情を発散させずにいると身体に蓄積されます。

怒りや悲しみは特に蓄積されやすい感情です。胸に悲しみ、腰に怒りの感情が蓄積されやすい傾向にあります。気当て診断法を用いると蓄積感情、人から受けた感情がどこにどれくらい広がりをもち存在するかがわかります。そ

れぞれ蓄積感情、人から受けた感情と思いがけながら当てます。気が当たるところが、その感情のあるところです。その感情を気当て診断で、どこにどれくらいどの範囲であるかをチェックし、そのエネルギーを消すレメディーや漢方薬をうまく選ぶと数分で蓄積感情エネルギーは消えて、症状も改善します。

デモンストレーションでは希望者に前に出て来てもらいました。胸のあたりが詰まると訴えるなどの感情蓄積の方は、その感情エネルギーを消す漢方薬を気当てで選び、飲んでもらったところ、2分程度で改善しました。

人から受けた感情は強いものはいわゆる生き霊と呼ばれるもので、人が怒りや妬みなどの宜しくない感情だけでなく、頼るや好きといった感情であっても、それが強い場合は、人に付いて悪影響を与えます。そうした人から受けた感情は最初、受けた人の周辺のオーラ層にありますが、次第に身体内に入り込んでいきます。

デモンストレーションに出て来られた方は、肩こりなどが強かつ

たのですが、気当て診断で人からの感情がどこにあるかチェックし、その感情を消すアスプレーを撒いたところ数秒で改善しました。さらに身体に深く入り込んだ人から受けた感情には、気入りオイルを塗り、1分程で改善しました。



トラウマに関して該当者は会場にはおらず、デモンストレーションなしで解説だけにとどまりました。トラウマのケースでも気当て診断でその感情の存在をチェックし、的確にレメディーや漢方薬を使うと3分程度で改善します。

さらに症例紹介では、電車に乗ると動悸が激しくなるパニック障害やかけた鍵を何度も見に行く脅

迫神経症のケースでも、その気エネルギーをチェックし、適格なレメディーや漢方薬を気当て診断で選ぶと数分で改善した例を報告しました。

第2部は霊障の講義です。霊障の講義が始まる前に、憑依されやすい人には、予防のためキラキラしたメタルテープを配り身に付けるよう指導しました。

成仏していかない霊が憑依すると良くないことが起こりますが、それを霊障と言います。霊障があるかどうかも気当て診断法でチェックします。不成仏霊と意識して気を当て、気が当たるところにそれが居ると判定します。ただし霊的プロテクトなしにこの診断をすると憑依霊の影響や憑依を受けて危険です。もっともお勧めしているプロテクトが、橋本が選んだアイヌの帯です。

浄霊法はアマテラスオオミカミなど高次元の神様のエネルギーを天から降ろして霊が上がる道を作り、彷徨う霊を気で癒すと浄霊できます。これは一種の気エネルギーワークです。徐霊は霊を払うことですが、これでは霊は成仏でき

ず空間に浮遊するだけなので、再度憑依を受けます。

デモンストレーションで出て来られた方の情報を人型に入れ、浄霊する気を入れたホログラムシートに乗せて遠隔浄霊したところ、20分ほどで浄霊が終わりました。その方は浄霊後、歩行に杖が要らなくなつたと感激されていました。霊障予防は再発を抑える意味で大切です。

自身の霊障プロテクトでもっともお勧めするのはアイヌの帯です。家に不成仏霊がいると、いくら本人の浄霊をしても、すぐに再発します。家に居る霊は家の間取り図で気当て診断法で遠隔チェックします。住んでいる家に憑依霊が居る場合、浄霊スプレーを家に居る霊に吹き付けてもらいます。それほどほとんど一瞬で浄霊されます。家の外から浮遊霊が入って来ているケースでは、入ってくる方向にシーサーや鏡を用いてブロックしてもらいます。

憑依体質を改善させる方法は、プロテクトを付ける以外に、霊に意識を合わせないことです。霊障体験がトラウマになっている方は、なかなかその恐れから逃れにくい

ので、無意識のうちに不成仏霊に意識を合わせてしまいがちです。まずはそのトラウマエネルギーを消すことが大切です。

先祖供養は、霊を癒す点で浄霊と似ています。不成仏のご先祖さまを呼び出すと霊障を起こすことがあるので、その場合はご先祖さまを浄霊する必要があります。また、その霊の悪影響を受けないようにするには、霊が身体に入らないように、札を立てた1か所に集まるように誘導します。すでに成仏して霊界に居る霊に対しては、さらに上界から降ろした気エネルギーをその霊に入れて、霊がさらに上層階に上がるよう誘導します。

亡くなった人の霊以外には妖怪、悪魔、動物霊の紹介をしました。悪魔の経験は2例でコメント困難です。動物霊は偶然に憑依されがちで、憑依されると妙な顔つきになります。妖怪は漫画や物語の空想世界のものと思っていました。浄霊しても改善しない人に気当て診断で見つけました。人の霊と違い人間的な感情はなく、妖怪退治のエネルギーやお札を使っても逃

げるのが素早く、ホログラムシートで対処しないと対策は困難です。(記録は橋本氏)

☆ ☆

橋本氏は地元関西でクリニックを開業。参加者なじみの関西弁で軽妙に笑いを誘いながら、独自に開発されたという気当て診断法などを分かりやすく説明されました。参加者も気の世界を身近に感じた一日でした。

「はしもと内科外科クリニック」の連絡先 TEL 06(6382)2110。

当日の参加者は会員18名、非会員60名合計78名でした。今回のカセットテープはありません。(関西日本サイ科学会会長 河野明夫)

本部例会ビデオ映像販売のお知らせ

ハイビジョン映像・音声ファイル(約3時間)を記録したUSBメモリーでお送りしますので、ほとんどのデスクトップあるいはノート型のウインドウズ・パソコンで見ることが出来ます。価格 1本につき 三五〇〇円 (送料含む)

以下12本のビデオ映像から、御注文願います。

- ◎2013年4月本部例会
講師 大野百合子氏
「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち―あなたは誰なのか―」
- ◎2013年5月本部例会
講師 浪平博人氏
「イメージによる瞬間教育」
- ◎2013年6月本部例会
講師 松原秀樹氏
「アレルギーを治す秘訣」
- ◎2013年7月本部例会
講師 酒向猛氏
「千鳥学説を知るために」
- ◎2013年9月本部例会
講師 奥野節子氏
「ブラジルの奇跡のヒーロー ジョン・オブ・ゴッド」
- ◎2013年10月第23回全国大会
シンポジウムテーマ
「サイと自然治癒力」
- ◎2013年11月本部例会
講師 小久保秀之氏
「生体センサによるサイ研究―超能力研究の最前線」
- ◎2014年1月本部例会
講師 小川博章氏
「魂の発見」
- ◎2014年4月本部例会
講師 西川眞知子氏
「生命の智慧 アーユルヴェーダ―アーユルヴェーダから見る生命のすばらしさ―」
- ◎2014年5月本部例会
講師 岩根和郎氏
「般若心経とサイ科学」
- ◎2014年6月本部例会
講師 秦西平氏
「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- ◎2014年7月本部例会
講師 小林信正氏
「ラップ現象の究明―オーブとの関連性について―」



メールまたはFAXで左記に掲載のメールアドレス(またはFAX番号)に、「2010年〇月〇〇氏ビデオ購入希望」と記して、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、御注文願います。
2週間以内に発送致します。

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
FAX 047-330-4091

お支払いは、到着後同封の郵便振替用紙で8日以内にお振り込みいただければ、結構です。



◎サトルエネルギー学会
秋の大会のお知らせ
(日本サイ科学会協賛)

秋の大会テーマ

ココロもカラダもイキイキ・ワクワク
くヤマトのタマシイを蘇らせるサトルエネルギー

日時 平成26年10月26日(日)

9:45 ホール開場

10:20 開演

講演・実演者

井上恒弘、船瀬俊介、飯島敬一、
クリスタリスト麻実、長堀優、
帯津良一

17:30~18:00 パネルディスカ

ッション パネラー参加講師陣
司会・池本敬子

19時より懇親会

会場 (財)修養団SYDホール
料金 前売りチケット

サイ科学会会員 六千円
一般予約 七千円

【振込先】お申込みと同時に左記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振替振込先

口座番号 00170-1-196569

加入者名 サトルエネルギー学会
申込受付 協賛会員 9月10日
一般 9月20日

お問合せ サトルエネルギー学会

電話 03-5730-6450

E-mail information@subtle-eng.com
URL <http://www.subtle-eng.com/>

大会運営委員長 井上 恒弘



《本部月例会・全国大会講演録の販売》

本部月例会・全国大会のICレコーダーによる録音の音声ファイル(拡張子wma)なので、聞くためには「CD、DVDプレーヤー」の付いたウインドウズ・パソコンが必要になります。

以下のリストから興味のある講演、今一度聞いてみたいものを御注文願います。講演時間は平均3時間前後で質疑応答等も含まれます。マイクからの直接録音ではなく、やはり会場のスピーカー音の録音ですので、完璧な鮮明さではありませんが、もちろん内容は普通に聞き取れます。当日放映されたビデオやOHP等で紹介された図や写真は付いておりません。

講演録の代金は1回分2,000円(送料等含む)です。お送りするのは講演録の入った「CD-R」で1枚につき6、7回分が入ります。(一部のノートパソコンを除いて、大抵のウインドウズ・パソコンには、「CD-Rファイル」が読めるプレーヤーがついております。)

※御注文は郵便局にある「郵便振替用紙」の通信欄にご希望の講演録の『年/月 講師名』と金額(1回分2,000円)を記入し、郵便振替口座 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会にお振込願います。

あるいは、メールで先に事務局 office21@psij.mail-box.ne.jp に注文されても結構です。

- 2010/ 7/10 木下次男氏「福島県飯野町『千貫森謎空間』補足：UFO学について」
- 2010/ 9/11 感じられる“サイ”ー3種類のサイデバイス・ソフト体験会ー
- 2010/10/10 第21回全国大会 シンポジウムテーマ「2012年間題とサイ」
- 2010/11/14 秋山真人氏「夢診断と未来予測」
- 2010/12/12 宇治橋泰志氏「新たな予防医学を目指して」
- 2011/ 1/ 8 新年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2011/ 2/12 石川和孝氏「世紀末的神示と予言の陰陽道的思考」
- 2011/ 5/14 赤松瞳氏「最新脳科学と透視能力」
- 2011/ 6/12 井出治氏「未知エネルギーの研究とチャネリング」
- 2011/ 7/18 古村豊治氏「なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか?」
- 2011/ 9/10 鈴木俊輔氏「3・11新文明の幕開け～日本人の使命～」
- 2011/10/ 9 創立35周年記念大会シンポジウムテーマ「パワースポット」
- 2011/11/12 小林信正氏「心霊現象について」
- 2011/12/10 忘年会も兼ねた会員の体験意見発表と討論の会
- 2012/ 1/14 ミッツィ植田氏「縄文スピリットでサバイバル」
- 2012/ 2/11 小林正典氏「サイ科学に関係した電気・磁気の研究の紹介」
- 2012/ 4/14 ロン薄葉氏「オーブ現象とこれまでの歩み」
川崎利男氏「オーブ観察7年間その傾向と残された課題」
- 2012/ 5/12 徳永康夫氏「命とソマチットと般若心経の探検」
- 2012/ 6/10 松永修岳氏「密教開運術「強運の成長戦略提言～氣を高めれば運はやってくる～」」
- 2012/ 7/14 中島敏樹氏「水と珪素の集団リズム力」
- 2012/ 9/ 8 ホンマシュウジ氏「未曾有の天災・人災を目の当たりにして、サイ科学は何が
できるのか!？」
- 2012/10/14 第22回全国大会 シンポジウムテーマ「コンタクト」
- 2012/11/10 藤森博明氏「気(生命エネルギー)の实在と能力」
- 2013/ 1/12 志賀一雅氏「 α 波のコヒーレンシーについて」
- 2013/ 2/ 9 宇治橋泰志氏「疾病を根本から改善する新治療法を求めて」
- 2013/ 4/13 大野百合子氏「宇宙図書館(アカシックレコード)から見た世界の仕組みと私たち
ーあなたは誰なのかー」
- 2013/ 5/11 浪平博人氏「イメージによる瞬間教育」
- 2013/ 6/ 9 松原秀樹氏「アレルギーを治す秘訣」
- 2013/ 7/13 酒向猛氏「千島学説を知るために」
- 2013/ 9/14 奥野節子氏「ブラジルの奇跡のヒーラー ジョン・オブ・ゴッド」
- 2013/10/13 第23回全国大会 シンポジウムテーマ「サイと自然治癒力」
- 2013/11/ 9 小久保秀之氏「生体センサによるサイ研究ー超能力研究の最前線」
- 2014/ 1/11 小川博章氏「魂の発見」
- 2014/ 4/12 西川真知子氏「生命の智恵 アーユルヴェーダ ーアーユルヴェーダから見る
生命のすばらしさー」
- 2014/ 5/10 岩根和郎氏「般若心経とサイ科学」
- 2014/ 6/ 8 秦西平氏「気超科学と宇宙生命哲学 新病気学」
- 2014/ 7/12 小林信正氏「ラップ現象の究明～オーブとの関連性について～」

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
電気磁気学 [加速教育用] (1983: 加速学園出版部)	1,340 円	(160 円)
謎のオズマ計画 - UFO との関連 - (1976: USL)	190 円	(80 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げしました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX、電話で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

(2) スプレー噴霧放射

「ハンド・スプレー」を用いて水滴(キリ、噴霧)を放射すると、キリが消える頃に、オーブが写りやすい(川崎利男)ので、オーブ撮影には、ハンド・スプレーを用いて水滴(キリ、噴霧)を放射した。撮影には画素数の少ないニコンE-2200(220万画素数)。2014年4月27日(日)、晴れ、ハンド・スプレー噴霧水。フラッシュ光ON。一例のNo,1774を見る。図の右上にはスプレーが写されており、中央上部にスプレー水によるモヤ(キリ)があり、そのすぐ下(図の中央)に、デコボコ状の小粒の集合を伴った中径のオーブが写されている。一例としての、ほぼ同一構図のNo,1777には、中央キリ(モヤ)の上部に、中径で、上記とほぼ同一模様のオーブが写されている。他には、約10個の小粒オーブ(同一模様)がある。これらを見ると、スプレー水によるキリ(モヤ)は極小粒であり、また円内に模様が無い。さらにオーブの出現には、素粒子の性質(非局所性、ランダム性等)が色濃く表れている。これらから、オーブは水滴ではないと言えよう。

5. 近赤外線燈照射

オーブ(たまゆら)は近赤外線領域に潜んでいるので肉眼には見えない(活性化エネルギー、約 1.4eV)。そこで近赤外線ランプを照射して、その効果と意味合いを調べる。なお、オーブの出現には、近赤外線の与え方が重要と思えるので、フラッシュ的(衝撃的)か、またはランプ照明的かを調べる必要があると思えるので、この点に注意して検討する。場所は福島市実験室西側空き地。「晴れ」で「夜間」にテストを実施した。

(1) 画素数の多いカメラ

カシオ・カメラ(1610万画素)を用いた。福島市実験室西側空き地。「晴れ」で「夜間」にテストを実施した。2014年5月1日(木)、「フラッシュ光禁止」、「近赤外線燈継続照射」、「スプレー水有り」で、6~10秒に1枚ずつ、No,0725~0737まで、13枚続けて写真撮影した。キリ

(モヤ)は写されているが、オーブは写らなかった。そこで、さらに2014年5月4日(日)に、同一の実験を実施した。No,0738~0745迄、8枚撮影したが、やはり、キリ(モヤ)が写されており、オーブは写らなかった。つまり、単なる近赤外線燈照射下では、オーブが出現しにくいことが判った。

(2) 画素数の少ないカメラ

ニコンE-2200(220万画素数)を用いた。福島市実験室西側空き地。上記と同様に、「晴れ」で「夜間」に実施した。2014年5月7日(水)。条件として、「フラッシュ光ON」、「近赤外線燈継続照射」、「スプレー水有り」で実施した。No,1892~1906迄、6~10秒毎に撮影した。テストした全数の15枚には、キリ(モヤ)が写されている。その中でオーブが写ったのはNo,1990の1枚のみであった。つまり「フラッシュ光ON」でも、「近赤外線燈照射」があると、オーブは写りにくいことが判った。つまり、「近赤外線燈照射」はオーブ出現の抑止に働くと考えることが出来よう。つぎに、念のために「近赤外線燈禁止」、「フラッシュ光ON」、「スプレー水有り」で同一の撮影を試みたところ、No,1889~1891が得られた。3枚とも、キリ(モヤ)とオーブが写っている。

6. 検討並びに考察

結果の大略をみることにした。出現の確率などをもとにして、近赤外線光、水分、歓心がオーブの出現に与える影響を調べた。(1) どうも、歓心の高さが出現に大きく影響しているらしい。(2) つぎに影響するのは、フラッシュ光である。注意すべきは、近赤外線燈照明などのように継続して照らし続けるものは、むしろ、出現阻止に働く傾向がある。衝撃(インパクト)的な光放射がより効果的である。(3) つぎに影響するのは、空気中の水分であると、判断出来そうである。つまり、近赤外線光照射、水分等には(あまり)関係なく、歓心の高さによってオーブが写し出される傾向がある、と考えられる。

(2) 上海博物館室内。

2014年6月15日(日)、晴れ、昼間の10:00～14:00。フラッシュ(ストロボ)撮影。カメラは2種類。オート撮影。テストした48枚中の32枚にオーブが撮影出来た。多過ぎる感じもあるが、結果の一例を写真No,2036に示した。電灯光照明の落ち着いた展示室内の画面のほぼ中央に中程度の直径の1個の明確なオーブ(たまゆら)が出現している。博物館は料金無料で開放されており、特に日曜日は、親子連れが多く、心を楽しめる場所である。

(3) 上海市の南京東路

上と同一条件であるが、夜間の20:00～21:00の撮影。13枚中11枚にオーブ出現。これも多過ぎる感じがする。一例を写真No,1959に示す。地下鉄の人民公園駅東側の南京東路は歩行者天国として開放されている。夜になると、繁華街の象徴としての多数のネオンが輝き、人混みをかき分けて歩む程の賑わいがあり、多くの市民の楽しみや憩いの場所として存在している。写真には、道路上の賑わいを反映したかのように、夜空に、非局所的に、多くの大小様々なオーブ(たまゆら)が、写し出されている。

(4) 上海市の静安寺堂内。

上の(2)と同一条件で、10枚中5枚にオーブ出現(多過ぎる感じ)。結果の一例を写真No,2078に示す。これは大雄宝殿(大仏殿)の地下室に設置してある金色諸仏を写したもので、蛍光灯や電灯光等によって照明されている。堂内の天井に張られた茶色幕の上方に、大直径1個、中直径2個のオーブが、ほんやりと、写されている。撮影時の堂内は閑散としていた。どうやら、散会後の人々の居ない会場の様子であった。同時に撮影された別の雰囲気の一例として、No,2074を示す。大雄宝殿内の一階には、本尊(大仏)が設置されている(薄暗い)基壇上の高い天井付近(中央)に、明瞭な1個のオーブ(たまゆら)が出現し、写し出されている。

3. 薄暗い夜空を写す

オーブ像撮影時の通常の方法。つまり、電離していると思われる薄暗い夜空に向けて、「フラッシュ光ON」で撮影する場合である。画素数と性能の異なる4台のカメラを用いて、場所と時間を様々に変えて撮影し、多数のオーブ(たまゆら)を得ている。写されたオーブはほぼ円形であり、輪郭はほぼ明瞭、内側にはマンダラ模様、唐鏡状、または非対称の干涉縞模様を持ち、外側に向けて放射状の短いハイロー(halo)を持ったオーブ(たまゆら)が写されている。しかし、全体としては、「ぼけ状写真」である。

4. 水滴とオーブは異なる

オーブ(たまゆら)は小雨の降り始めに写りやすいことが知られている。そこで、小雨の降り始め時と、晴れでスプレー水(水滴、キリ)放射時、の実験を行う。

(1) 小雨の降り始め

画素数の多いカシオZ-2000(1610万画素数)を用いた。測定は2014年3月5日(水)、夜、小雨の降り始め時。強制発光(フラッシュ光ON)。一例としてのNo,0569をみる。図の右よりの屋根(背景)の上到一个(中径)の白色発光状オーブが写っている。円内には小粒がデコボコと混在するような模様があり、円外には放射状の短いハイロー(halo)がある。他に写っているのは雨滴(小粒状)である。一例としてのNo,0575には、図の右側より、下方の電灯光(ライト)の上方に一個(中径)の白色発光状オーブがある。多少イビツな円形状で、上記とほぼ同一な模様であるが、唐の鏡状かな、とも思われる模様を持っている。その他として、小粒の雨滴もあるが、中には前幕シンクロ像(上に尾を引く)を持つものもある。これらから判断出来ることは、雨滴は極小粒状(キリ、モヤ状)であり、オーブは中・大直径(粒)で内部に模様を持つので、雨滴とオーブは別であると言えよう。



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

近赤外線光、水分、歓心がオーブの出現に与える影響

佐々木 茂美

電離した空気中からオーブ(たまゆら)を形成・出現させるための機構を究明するための実験・撮影は、あまり見掛けないので、前報と本稿で検討して、初歩的な考察を試みることにした。

1. 実験・撮影条件

デジタル・カメラの画素数(CCD)の少ないカメラは、オーブの撮影には便利である(写りやすい)が、オーブ円内の模様(マンダラ状、表情)の判断には適さない。画素数の多いカメラは、写りにくいですが円内の模様(表情)を知るためには便利である。本稿では、画素数の少ないデジカメとしてニコンE-2200(220万画素数)、多いカメラとしてカシオEX-Z-2000(1610万画素数)を用いる。撮影条件は、露出モードをオート撮影(P)に合わせる。これは絞りとシャッターの組み合わせをカメラが自動的に選定して撮影する方式である。室外の撮影時間は、夜間の20:00~21:30の間。撮影場所は、中国の上海市(道路上、博物館内、寺院内)と香港市の寺院内、日本の福島市の実験室の西側空地と南側の道路上、その他。撮影は、つぎの諸項目を組み合わせで実施した。ストロボ光(フラッシュ光)禁止、ストロボ強制発光(フラッシュ光ON、色温度約6000度K)、近赤外線電灯(TOKI赤外線家畜用電球100V-185W、色温度約3300度K)照射時、その他ろうそく等。天候は晴れ、小雨の降り始め時、晴天時に室外でスプレー水(キリ、噴霧)を放射したとき。

2. 室内と道路上で照明光がある場合

オーブ(たまゆら)は、室内(雨がでない)で照明光が存在していても、背景が暗いと、撮影されやすい(写されやすい)。特に、心を楽しむ場面(生命力向上、歓心、願い)に出現するケースが多いという。しかし、日本の社寺や博物館等の室内では、フラッシュ撮影が許可されていない。他方、中国では博物館や寺院等の室内のフラッシュ撮影が許可されているケースが多い。そこで、撮影場所を中国に選んで撮影・実験を行うことにした。

(1) 中国の香港島(室内)

文武廟とその近くの大観音堂、百性廟、水月観音堂内。2012年12月27日(木)、小雨、昼間の11:00~16:00。フラッシュ(ストロボ)撮影。カメラは2種類使用。オート撮影。テストした101枚の中の29枚にオーブが撮影出来ている。結果の一例を写真No.1555に示す。文武廟内部の画面上に1個の中程度直径のオーブ(たまゆら)、その他(小径)、が写っている。本堂内には蛍光灯、電灯光、赤提灯(ろうそく)、灯明、たき火(おふだ)、線香等の煙などがあり、様々な赤色系の原色光が混ざり合い、祈りの場としての荘厳な雰囲気醸し出している。当然ながら堂内の空気中には水滴(キリ)などは無く、照明はいろいろで様々であるが、それにも関わらず明瞭なオーブが写し出されている。